

## 大野城市史：第三編『中世』

服部，英雄  
九州大学大学院比較社会文化研究院：教授：日本史

<https://hdl.handle.net/2324/17749>

---

出版情報：大野城市史。上巻，pp.501-598，2005-07-31。大野城市史教育委員会  
バージョン：  
権利関係：

## 第三編 中世

### 第一章 歴史はくり返す

—時代を通じて変わらなかった四王寺山の役割・逃げ込みの城と狼煙山—……………501

大陸との玄関口大宰府・博多……………四王寺山の狼煙台……………古代・中世ののろし

### 第二章 蒙古襲来と大野城市域……………510

第一節 ムクリコクリの記憶……………510

鬼がくる

第二節 文永の役と太宰府……………512

文永の役と冬の嵐……………『八幡大菩薩愚童訓』の記述……………『勘仲記』の異なる記述

風はいつ吹いたか……………もう一つあった大きな合戦

第三章 中世の農民生活をさぐる—早魃と出挙……………521

飢饉と雨乞い……………水瓶山の経筒

第四章 中世史料に登場する大野城市域……………528

## 第五章 唐山城と牛頸城

### 第一節 唐山城

- 一 天満宮領の村むら——大利村・河原田（瓦田）村・白木原村……………528
  - 安楽寺領の書き上げ 大利村の安楽寺領 河原田（瓦田）村の安楽寺領
  - 秀吉へ安堵を申請した所領 小早川隆景による安堵 白木原村の光明藏禪寺領
- 二 崇福寺領の村むら——大利村と山田村……………536
  - 大利村の崇福寺領 山田村にも泉松寺領
- 三 国分寺領田のあるむらや給人領のむら……………538
  - 瓦田には「国分田」も 乙金に給人所領
- 四 平野社……………541
  - 牛頸が平野庄か
- 五 宗祇がみた三笠の森……………542
  - 博多への旅の記録 宰府から博多へ所々の名

### 唐山城……………544

- 唐山の南日守峠 田中道 盗原 要路の押さえ唐山城
- 地誌にみる遺構・城主 大友方拠点としての唐山城 毛利・大友和睦以後
- 大友敗北と唐山城取誘

### 第二節 牛頸不動城

- 一 不動城の地理的位置……………556
  - 水城と幹線防衛 太宰府包囲の一例から見る 岩戸・佐野山を結ぶ道……………556

二大幹線の要牛頸不動城

二 不動城の遺構と縄張（平面プランと立地の意味）

第三節 不動城の歴史と変遷―奈良原氏と幡崎氏

一 不動城

遺構の現状 城に關係する地名

二 不動城およびその城主・奈良原氏に関する文献上の資料

關係資料は三点 歴史の大局を伝える『筑紫家文書』

三 資料に見る不動城とその城主・奈良原兵庫助高政

奈良原氏とは 『筑前国統風土記』の記述 「墓碑銘」の記述

四 「墓碑銘」の疑点

不動城は秋月氏の配下か 幡崎氏とは

五 奈良原氏の後

奈良原兵庫助は切腹したのか 末裔は明治の快人

## 第六章 地名から見た中世社会

一 条里制耕地と坪名

二 村人たちと水田地名

早田（早稲田） 苗代田 とうぼし田・大唐田 イリウ ブッシュウ

節匂田 見取町 石勺ほか

三 牛頸の地名

591

585

584

584

582

573

570

568

561

561

559

## 第四編 近世

### 第一章 近世社会の成立

#### 第一節 豊臣政権と小早川氏

##### 一 豊臣秀吉の九州平定

豊臣秀吉の九州平定

九州の国割

博多の復興

601

##### 二 小早川氏の領国経営

小早川隆景の筑前入国

朝鮮出兵

太閤検地

筑前の太閤蔵入地化

604

小早川秀秋の再入国

#### 第二節 福岡藩の成立

##### 一 黒田氏の筑前入国

黒田長政の筑前入国

城下町福岡の建設

六端城の建設

611

##### 二 検地と福岡藩の家臣団

慶長七年検地

大野城市域各村の村高

家臣団の構成

慶長期の農政

616

#### 四 牛頸という地名の語源

平野川流域

牛頸川流域

東浦からイガイムタ池筋

平野川と合流後の牛頸川流域

山の地名（倭石・山の神・古屋敷・シラミ狩倉）

597